

たいそづかかのうまも

# 「太素塚叶守り」ストラップ 全8種

たいそづかかのうまも

## ■太素塚叶守りとは

「叶結び」は表が「口」、裏が「十」となり、合せると「叶」の文字になる結びで、縁起が良いとして、古くからお守りの結びなどに使用されています。この「叶結び」に、それぞれ古くから縁起の良い紐結びを八種類組み合わせ、地域のパワースポットとして知られる「太素塚」において結ばれた吉祥結びストラップ「太素塚叶守り」全8種が誕生しました。

## ■太素塚の由来

たいそづか

「太素塚」は慶応二年（一八六六）十和田市開拓の祖である南部盛岡藩士・新渡戸傳（号・太素）が、このまちを未来永劫見守るため、自筆で「太素塚」と刻み、建立した墓です。明治四年（一八七一）に七十八歳で没し、ここに埋葬されました。現在は新渡戸三代（傳、十次郎、稲造）をはじめ、三本木原開拓の先人たちがまつられ、地域のパワースポットとして、心の拠り所となっています。



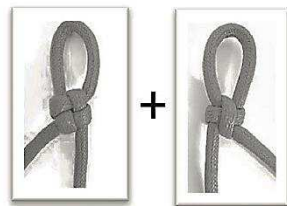
太素塚にも新渡戸三代の銅像



太素塚入口



太素塚



おもて「口」

うら「十」

= 「叶」  
かのう  
結び

【太素塚叶守りについて  
お問い合わせは】

新渡戸記念館ボランティア  
Kyosokyodo（共創郷土）  
事務局 角田美恵子

〒034-0031 十和田市東三番町 24-1  
Tel 080-5578-5939  
Fax 0176-23-4430（受信専用）  
Email: info@kyosokyodo.jp

たいそづかかのうまも

# 「太素塚叶守り」ストラップ

# その1とその4

◎その1

勝ち虫の如く前進せん事

吉祥「秋津叶結び」



(大) 五〇〇円 (小) 四〇〇円

秋津結び



古くはトンボを秋津と呼び、国土がトンボの形に似ていることから、日本を「秋津島」と呼びました。トンボは素早く飛び回って害虫を食べ、後退しない所から「勝ち虫」として武士に好まれた縁起物でした。日本の心「武士道」を世界に発信した新渡戸稲造博士に因み、皆様がそれぞれの願いへ、日々前進できますようにとの思いを込め、太素塚にて結びました。

◎その2

荒野に豊かな実りあらん事

吉祥「稲穂叶結び」



五〇〇円

稲穂結び



稲は「命の根」に由来してイネと なったとも言われ、日本では古来から神事において捧げられる大切なものです。不毛の荒野と呼ばれたこの地に水を引き、稲実る豊かな地に変えた十和田市の歴史に因み、太素塚の清浄な空気の中、皆様に豊かで実りある毎日をとという願いを込めて結びました。

◎その3

万事整い幸多き事

吉祥「几帳叶結び」



五〇〇円

几帳結び



几帳の柱に施された細工を「几帳面」と言い、細部にわたって丁寧に仕上げることから「きちんとした様子」を表す言葉 になったといわれます。太素塚の清浄な空気の中、皆様の日々の物事がすみずみまできちんと整い、幸せが訪れますようにという願いを込めて結びました。

◎その4

清らかなる星の光に導かれん

吉祥「籠目叶結び」



五〇〇円

かごめ結び



「かごめ」とは、竹かこの目のような文様のことで、五芒星★の型です。木・火・土・金・水の五つの元素の働きを相互作用を表すと言われ、浄化の力があるとして魔除けによく使われます。新渡戸の家紋「月星」に因み、星の形に皆様の清々しい日々への願いを込め、太素塚にて結びました。

たいそづかかのうまも

# 「太素塚叶守り」ストラップ

# その5くその8

◎その5

太素の加護あらん事

吉祥「茗荷叶結び」

五〇〇〇円



茗荷結び

「茗荷」の形に似ていることからこう呼ばれています。茗荷は読みが「冥加」(みょうが) || 知らないうちに受ける神仏の加護)と同じことから縁起が良いとされています。パワースポットと言われるところここ太素塚のご加護と恩恵が、皆様に授けられますように、との願いを込めて結びました。

◎その6

幾久しく仲睦まじき事

吉祥「相生叶結び」

五〇〇〇円



相生結び

「相生」とは二本以上の木が、同じ根から生える事。「相老」とかけ、夫婦共に長生きする事も表します。新渡戸稲造の英文「武士道」は米国出身の万里夫人との対話から生まれた名著です。生涯支え合ったお二人の様に皆様にも相生の幸せが訪れますようにとの願いを込めて太素塚にて結びました。

◎その7

功成し国の礎とならん事

吉祥「国叶結び」

五〇〇〇円



国結び

「国」の字の形に似ていることからこう呼ばれています。三本木原開拓の仕事に成功させ、国づくりに大きく貢献した新渡戸三代の事跡に因み、太素塚の清浄な空気の中、皆様の日々の務めの栄達と成功により、私たちの良き故郷が築かれますように、との願いを込めて結びました。

◎その8

われ太平洋の橋とならん

新渡戸稲造ゆかりの紐結び

五〇〇〇円



## 稲造ゆかりの紐結び

文久二年(一八六三)に生まれた新渡戸稲造は、三本木原開拓の初穂に因み名付けられ、8月8日生まれて8年ごとに人生の節目があり、稲造自身「8は自分に縁がある」と意識していました。「稲」と「八」に因む結びと「几帳結び」を使用し、パワースポット太素塚の恵みが皆様にありますようにとの願いを込めました。

